

平成30年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

1. 生徒が将来の夢を明確な目標として堅持し、それに向けて努力を継続できるよう、個別にサポートできる体制づくりに取り組む
2. 規律正しい生活及び家庭学習の習慣を確立させ、自習室の利用等による自律的学習の強化を図るとともに、主体的に部活動・学校行事に参加できるバランスのとれた生徒の育成に取り組む
3. あいさつ、敬語の使い方等のコミュニケーション能力をさらに向上させるとともに、他人への思いやりある生徒の育成に取り組む
4. 国際交流を始めとする生徒・保護者の多様なニーズに応え、地域の幼稚園、保育所、小・中学校等の教育資源との連携や各種の地域活動への参画などを通じた生徒の自尊感情の高まりによる「国際感覚を備えた地域に貢献できる若きリーダーの育成」に取り組む
5. 人格形成、学習指導、キャリア教育等において、さらなる満足度アップを実現する、元気でたくましい生徒があふれる「明るくさわやかな学び舎」「安全・安心の学び舎」づくりに取り組む

2 中期的目標

1. さらなる学力の向上及び進路保障

- (1) 新学習指導要領に則して思考力・判断力等を伸ばす自発的・対話的で深い学びを取り入れた授業を実践する。
 - ア. グループワークを取り入れることにより協同作業及び討論を通じて思考力コミュニケーション能力向上させる。
 - イ. タブレット端末を含む ICT の活用により生徒の興味を引き出すとともに教員と生徒及び生徒同士でキャッチボールができる双方向の授業を行い単なる記憶を超えた真の理解をめざした質の高い授業を行う。
 - ウ. 進路別授業、実験・実習の充実により全教科でわかる授業を展開する。
- (2) 安易に妥協せず希望進路を実現する学習指導を進め、個別指導家庭・学習指導の充実を図ることで、さらなる第1志望の進路保障に結び付ける。
 - ア. 生徒の進路希望を尊重した選択科目により、主体的に学ぶ意欲を引き出す。
 - イ. 大学入学共通テスト（新テスト）に向けて思考力を試す文章題および英語の外部テストに対応する。
 - ウ. 受験用学習教材を用いるとともに、取り組みやすい学習課題づくりや小テストの実施等により、家庭学習の重要性を認識させる。
 - エ. 早朝、放課後の講習・補習及び長期休暇中の学習イベントにより「わかる・できる」を体感させる。

※生徒向け学校教育自己診断「授業満足度」（平成29年度73.17%）、「授業の工夫」（平成29年度78.9%）、「カリキュラム満足度」（平成29年度76.7%）を2020年度に80%に向上する。

※国公立大、関関同立合格のべ100名以上（看護・医療系、公務員等一人ひとりの目標に対する指導を含む）

2. キャリア教育のための環境づくり

- (1) 自立・自律した人間として、将来の生き方を考えることができるプログラムを展開する。
 - ア. 土曜授業を念頭に置いた「志学」、「総合」、LHR の中期的計画及び指導計画を策定する。
 - イ. 地域連携、国際交流の充実に向けた体制を充実する。
 - ウ. 将来の生き方を見据えた「進路」を決定するために必要なプログラムを準備する。
 - エ. 読書活動を推進する（ビブリオバトルをさらに活性化させ読書の質と量の向上を図る）。
 - オ. 狭山生として必要なルールである「さやまスタンダード」の徹底を図る。
- (2) 互いの違いを認め合う人権尊重意識の向上に取り組む。
 - ア. すべての生徒に基本的人権や人権問題の認識を広め高い人権意識を育てる（狭山高校の人権教育目標を確立する）。
- (3) 学校生活の充実に向けた体制づくりに取り組む。
 - ア. 学校としての相談体制を明確にするとともに、学年団（担任）及び部活動における相談体制を確立する。
 - イ. クラブ部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図るとともに、退部した生徒のフォローに努める。

※生徒向け学校教育自己診断「学校生活満足度」（平成29年度78.4%）、「相談体制満足度」（平成29年度73.4%）を2020年度に80%にする。

3. 学校改革に向けての盤石な体制づくり

- (1) 教職員全員が参加する「チームさやま」体制を発展させる。
 - ア. H.30年度を新学習指導要領及び大学入学共有テスト対応元年と位置づけ学年・分掌・教科で授業、進路、英語外部試験等教育内容のスキーム構築を行う。
 - イ. 安全・安心の学び舎づくりの為、人権意識を高め、いじめ・体罰「0」を継続するために教員研修を実施するとともに、適切な対応を行う。
 - ウ. 事態対処の事例研究により、教員のノウハウを伝承するとともに人材育成を行う。
 - エ. 創立40周年実行委員会を定期開催し進捗状況を共有する。
 - オ. 「文化部フェスタ」等の実施により地域の中学生や市民の方々に狭山高校の魅力を発信し学校と地域の交流を深める。
- (2) PTA、同窓会等活動の活性化に取り組む。
- (3) 学校運営協議会の提言を具現化する。
 - ※教員向け学校教育自己診断【学校運営への参画意識】（平成29年度79.3%）を2020年度に80%にする。
 - ※保護者向け学校教育自己診断【学校満足度】（平成29年度85.2%）を2020年度に90%にする。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成30年12月実施分]	学校運営協議会からの意見																								
<p>1. 授業</p> <p>30年度. 学校教育自己診断アンケートの授業に関する質問項目 ①授業の工夫で肯定的な答えをした割合は、過去5年間概ね上昇して昨年からは70%後半となっている。これは、ICT機器の活用および主体的・対話的で深い学びを取り入れる等、教員の授業改善の努力が伺える。しかしながら、②期待に応える授業については、一昨年よりは上昇したものの昨年は-8Pとなり課題を残した。③興味・関心・適正・進路に応じたカリキュラムも70%を超えたが-4.4Pとなった。(※下記一覧表)。授業アンケートの有効活用、及び研究授業、教員相互の授業見学等により継続して授業改善に取り組んでいるが、主体的・対話的で深い学びについて、従前の授業からの変更点が生徒に浸透する過渡的な反応と思慮するが、その内容を分析・精査し狭山高校生の学力向上に資する組織的・継続的な授業改善努力が、めざす学校像と育てたい生徒像に合致しているかチェックしながら課題に取り組んで行く。</p> <p>※質問項目に1強く思う、2思うの合計比率(単位:%)</p> <table border="1" data-bbox="155 834 877 991"> <thead> <tr> <th>肯定的な比率</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>授業の工夫</td> <td>66.5</td> <td>70.5</td> <td>73.5</td> <td>78.9</td> <td>78.1</td> </tr> <tr> <td>期待に応える授業</td> <td>60.8</td> <td>62.2</td> <td>62.2</td> <td>73.1</td> <td>65.1</td> </tr> <tr> <td>カリキュラム</td> <td>65.3</td> <td>67.7</td> <td>67.7</td> <td>76.7</td> <td>72.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>H.30 入学生には、「大学入学共通テスト」対応として英語における外部テスト(GTEC)を導入し英語4技能対応を推進し且つ国語・数学で思考力/判断力を試す設問に対応するアクティブラーニングの要素を盛り込んだ授業を試行している。次年度はさらに外部環境変化に対して「チームさやま」として課題解決に取り組む教職員総がかりで授業改革を行う。</p> <p>2. 進路</p> <p>進路に関する質問では、考える機会の充実と自己実現の取り組みを問うたが、進路分野別説明会や職業ガイダンス、大学見学等進路を考える多様な行事や模擬テストの校内実施や幹旋により生徒一人ひとりのニーズに合ったキメ細やかな進路指導の結果動機づけの部分⇒「進路を考える機会が充実している」の質問に79.8%(-0.4P)の肯定的な結果となった。生徒の努力指標である「自己実現の取り組み」は年々増加傾向にあり68.4%(+2.0P)と増加した。進路実現の取り組みの中でも約70%が四年制大学を志望することから、校内模試を充実させ、学校の枠を超えた多くの受験生の中で自己の学力把握したうえで「1年生から3年生までを見通した一貫性のある進路指導」を次年度も推進する。</p> <p>3. 高校生活</p> <p>(1) 高校生活の充実度(生徒同士、先生と生徒の関係)</p> <p>「狭山高校での高校生活は充実しているか」の問いに対して78.2%の生徒が肯定的な回答をした。H26.75%→H27.78.5%→H28.77.6%→H29.78.4%と年々増加傾向を示しており、充実した高校生活を過ごす過程で学力・知力・徳力を伸ばし高い意識で希望進路を実現させる取り組みをさらに進めたい。教職員全員で、生徒を鍛え励まし※伸び率(成長率)N01を合言葉にサポートする体制をさらに高めることで、高校生活の充実度80%超をめざす生徒同士で「友好的な人間関係を構築できているか」の問いに対して88.7%が肯定的な回答を示した。例年85%~90%で高位安定しており落ち着いた校風を表している。他方、「先生は親身に相談に応じているか」の問いには72.1%(-0.8P)が肯定的にとらえており5年間の推移を見ても増加傾向であり好ましい結果となっている。(※H26.60%→H27.65.1%→H28.67.2%→H29.73.4%)</p> <p>(2) 学校行事</p> <p>学校行事に楽しめる工夫がされているか83.3%(+0.5p)がそう思うと答えており生徒・教職員・PTAが協力して準備し家族から友人・近隣住民まで来てもらえる文化祭および多彩な競技種目をそろえた体育大会、クラスマッチ(球技大会)さやかホールで行われる文化クラブ発表の場である文化部フェスタ或いは読書推進の一環であるビブリオバトル(書評大会)、英語スピーチ大会等狭山高校独自の行事も多く、生徒の楽しみと共に発表を通じて伝える力の養成にもつながっている。</p> <p>(3) クラブ部活動</p> <p>クラブ活動において「積極的に取り組んでいるか」の問いに対して68.4%(-1p)そうしていると答えている。運動系・文化系合わせて約80%の入部率から考えると数値が低い感じがするが、5年間の推移を見ても横ばいであり対外試合や発表会を通じて、多くの成功体験を積み重ねることとクラブ活動でしか経験できない多様な人間関係を学ぶことは、先々社会人になった時に大きな財産にな</p>	肯定的な比率	H26	H27	H28	H29	H30	授業の工夫	66.5	70.5	73.5	78.9	78.1	期待に応える授業	60.8	62.2	62.2	73.1	65.1	カリキュラム	65.3	67.7	67.7	76.7	72.3	<p>るので、部顧問の教職員および外部指導員の方々の協力でさらに部活の発展・充実に注力し生徒の肯定的評価70%以上に挑戦する。</p> <p>(5) 国際交流</p> <p>本校は豪州のCarey校と韓国の景福高校の2校との姉妹校提携を軸に国際交流を実施しており毎年相互訪問による親善交流を実施している。今年は豪州Carey校に24名の生徒が参加し語学研修を実施した。加えて9月にはCarey校から10名の生徒が来校し交流を深めた。韓国の景福高校からも14名が来校し授業交流並びにホームステイを通じて親善・異文化理解の点で意義深いものになった。国際交流に関する意識は66.5%(+3.3p)が肯定的なものとなり、年々向上している。</p> <p>(6) 地域ボランティア</p> <p>狭山池まつりの舞台部門の参加・運営に全面協力すると共に、狭山池のクリーンキャンペーンには15年間続けて積極的に協力しており、年々生徒のボランティアに対する意識は高まっている。51.7%(+1.1)は5年間増加傾向にあり参加者の増加と共に増えている。大阪狭山市唯一の高等学校であり今後とも生徒の自主的な地域連携を積極的に支援する。</p> <p>学校運営協議会からの意見</p> <p>第1回学校運営協議会(平成30年6月27日)</p> <p>新年度入りし任期満了に伴う会長 吉川測雄氏(大阪学院大学)、副会長 染川佳紀氏(立志館ゼミナール)が選任された。</p> <p>議題1: 学校経営計画の件(めざす学校像及び中期的目標は承認された)</p> <p>議題2: 進学実績の件(Q: 私学難関校の合格実績が減少している? A: 文科省指導による大学側の合格者絞り込みと指定校推薦指向が強いことが原因であるが、自分の将来を安易に妥協しないキャリア教育を推進することで、生徒にしっかりとした将来像を描かせて授業改善と補講習の充実により希望進路実現に邁進します。</p> <p>議題3: 40周年記念行事の件(40周年であり派手ではないが中身の濃い周年行事にしたい。同窓会/PTAとも協議して学校の教育施設の刷新も行いたい。</p> <p>議題4 災害の件: 台風により校庭の大木が倒れ、地震により外壁のひび割れの被害があった。また、2日間休校措置を実施したため授業保障を実施した事を報告する。その際、委員より防災教育とメーリングリストで安否確認してはどうかとの助言があり、避難訓練時に防災教育は実施しており安否確認手法を検討中であると回答。</p> <p>議題5: 不登校の件、本校は大阪府立学校の平均値を大きく下回るものの不登校生徒が1学年2~3名おり教育相談委員会により別室登校やSCによる定期相談を実施。立志館ゼミの染川氏より塾でも不登校が増えており初期対応が重要である。1回ダメになると環境を変えても厳しいとの助言あり。</p> <p>第2回学校運営協議会(平成30年11月20日)</p> <p>Q: 入口のところで中学生の志望校調査の動向が気になる?</p> <p>A: 昨年は競争倍率1.35倍に達し狭き門であった。理由は色々と考えられるが①普通科高校として一定の進学実績や部活・学校行事が評価され従来より大阪狭山市を中心に堺市/富田林市/河内長野市からの志願者が多い。近年堺市からの志願者が増加。</p> <p>Q: 若い先生が多いと聞くが教員の研修はどうか?</p> <p>A: 教員相互で授業の見学会を実施すると共に経験豊かな教員と経験の少ない教員の交流により実践的な授業力向上を図っている。加えて、教員向け人権研修でSCによる課題を抱える生徒対応や外部講師による貧困問題を扱った。委員からの助言: 狭山高校の文化祭は誰でも入れると聞いてとても良い事だと思った。例えば、学校説明会においても在校生と接触させた方が良い。加えて、先生や生徒の持つ空気感が大事なので行事等を通じて地域交流を活性化願いたい。</p> <p>第3回学校運営協議会(平成31年2月13日)</p> <p>会長から新聞の希望調査を観て狭山高校は募集定員を上回り安心した。本日は3回目の学校運営協議会ですが1年の締めくくりとして学校教育自己診断、学校評価、加えて次年度の学校経営計画が示されるので楽しみにしている。進路指導部長から今年度も一定の進学実績を残すことができ文科省の指導で合格者が減少している事を勘案すれば健闘したと思う。生徒指導部長から本校は問題行動が少なく懲戒件数も減少している。遅刻件数も指導を行った結果激減し年間累計が1,000件を割る見込みである。校長からH30学校評価案とH31学校経営計画案を説明し「めざす学校像」と「中期的目標」につき学校運営協議会の承認を得た。</p> <p>Q. 学校教育自己診断を観ると、教職員による進路関係の肯定的評価が低下しているがキャリア指導の観点から弱いのではないかと?</p> <p>A. 職員会議で進路指導に関する具体的な目標を徹底した。生徒の進路指導に対する肯定的評価は約8割に達しており、進路の多様化に対する教員の問題意識の表れと捉えている。</p> <p>Q. 今年も入学志願者は定員を確保する見込みだが広報戦略はどうか?</p> <p>A. 学校案内の冊子を改訂しようと思う。その際のポイントをご教示願いたい。スマホからQRコードでHPにリンクさせてはどうか。何を載せるかより、どう載せるか、が大切でありプロの意見も参考にしてください。</p>
肯定的な比率	H26	H27	H28	H29	H30																				
授業の工夫	66.5	70.5	73.5	78.9	78.1																				
期待に応える授業	60.8	62.2	62.2	73.1	65.1																				
カリキュラム	65.3	67.7	67.7	76.7	72.3																				

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 さらなる学力の向上及び進路の保証	<p>(1) 生徒が主体的に学べる充実した授業の実現に取り組む。</p> <p>ア. グループワーク導入による協同的学び、発表能力の向上</p> <p>イ. ICTの活用による教員と生徒の対話の実現及び授業の効率化</p> <p>ウ. 少人数展開、進路別授業等同質集団による授業の質の向上</p> <p>エ. アクティブ・ラーニング型授業の推進</p> <p>(2) 個々の進路の保証</p>	<p>(授業力の向上)</p> <p>ア. グループワークを取り入れ、少人数で協同作業、討論を行うことにより生徒に自信をつけさせるとともに、発表能力を向上させる。</p> <p>イ. タブレット端末を含む ICT を活用することで生徒の興味を引き出し、教員と生徒がキャッチボールしやすい環境をつくる。また、プロジェクター、黒板、プリント等をバランスよく用いて集中力を持続させ、授業時間を有効に活用する。</p> <p>ウ. 少人数展開、進路別授業で理解度を向上させる。また、実験・実習を充実させ経験値を上げることで理解度を向上させる。</p> <p>エ. アクティブ・ラーニング型授業を奨励する、ノウハウ・教材を共有することで職務の効率化を図る。</p> <p>ア. 3年間を通じた進路指導により進路に対する意識を高め第1志望につながる学びに結実させる。</p> <p>イ. 進路講習・補習・8時間耐久勉強会を充実させる。</p>	<p>※【 】は学校教育自己診断による</p> <p>【授業満足度 80%】 (H29年度73.1%)：生徒</p> <p>【授業工夫 80%】 (H29年度78.9%)：生徒</p> <p>【カリキュラム満足度80%】 (H29年度76.7%)：生徒</p> <p>(授業アンケート：3.14→3.18)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業研究チームによる校内研修の実施 講習や学習イベントへの参加生徒満足度向上(企画ごとの生徒満足度調査・平均80%目標) 国公立大学および関関同立合格：延べ100名以上 <p>看護・医療系、公務員等生徒のニーズによる講習の実施</p>	<p>H30. 授業満足度は 65.1%(-8P)</p> <p>H30. 授業工夫は 78.1%(-0.8P)</p> <p>H30. カリキュラム満足度 72.3% (-4.4P)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教員の継続した授業改善は進んでいる。AL型授業を生徒に理解・浸透させる為の授業展開に課題が残り改善を図る△ 授業アンケート 第1回 3.15 第2回 3.11と目標に届かなかった。次年度はさらにAL型授業を推進する△ 進学実績70名(3/25現在)△ 志望分野別説明会を実施し具体的な志望者に対する講習会を実施した○
2 キャリア教育のための環境づくり	<p>(1) 将来の生き方を考えることができるプログラムを展開する。</p> <p>ア. 地域連携、国際交流の充実に向けた体制整備</p> <p>イ. 当面の進路決定に必要なプログラムの準備</p> <p>ウ. 読書活動の推進</p> <p>エ. 「さやまスタンダード」の徹底</p> <p>(2) 人権尊重意識の向上に取り組む。</p> <p>ア. 多様な人権教育の推進と適切な対応</p> <p>(3) 学校生活の充実に向けた体制づくりに取り組む。</p> <p>ア. 相談体制の明確化及び確立</p> <p>イ. 部活動、生徒会活動等の活性化</p>	<p>(キャリア教育)</p> <p>キャリア教育を「生きること、学ぶこと、将来の職業を一体化させること」ととらえ、狭山生に自発・自律した人間として早期に目標を持たせ、将来の生き方を考えさせる。</p> <p>ア. 狭山池まつり等の地域活動を通じて、また幼・小・中学校との連携を通じてボランティアの意味を考えさせる。また、国際交流活動を充実させ、グローバルルームの活用を図る。</p> <p>イ. キャリアガイダンス等進路選択に必要なプログラムを準備するとともに、進路指導室、自習室をさらに活用する。</p> <p>ウ. マイメモリーを用いた読書活動を通じ、読書習慣を身につけさせる。また、学校図書を有効に活用し、読書活動を推進するとともに、ビブリオバトルでその成果を確認する。</p> <p>エ. 狭山生として必要なルール(早起き、挨拶、自転車マナー、敬語、携帯電話、服装等)である「さやまスタンダード」を徹底する。</p> <p>(人権)</p> <p>ア. 全ての生徒の人権意識を高め多様性を認め合う生徒集団を作り「ともに学ぶともに育つ」を考え実践する。</p> <p>(相談体制)</p> <p>ア. 学校としての相談体制をより強固にして教職員全員で情報共有と生徒の課題を解決する相談体制を充実・発展させる。</p> <p>イ. 部活動、生徒会活動等の活性化と参画の継続を図ると共に、途中で退部した生徒のフォローに努める。</p>	<p>※【 】は学校教育自己診断による</p> <p>【キャリア教育満足度 80%以上】 (H29年度80.2%)：生徒</p> <p>【地域連携参画意識 50%以上】 (H29年度50.6%)：生徒</p> <p>【国際交流参画意識 65%】 (H28年度60.2%)：生徒</p> <p>【部活動の満足度 70%】 (H29年度69.4%)：生徒</p> <p>【生徒会活動参画意識 70%】 (H29年度63.2%)：生徒</p> <p>■ビブリオバトル本大会出場 ※3年連続本大会進出</p> <p>■遅刻件数1,300件以内 (H29年度1,335件)</p> <p>【学校生活満足度 80%以上】 (H29年度78.4%)：生徒 (H29年度85.2%)：保護者</p> <p>【人権意識 70%】 (H29年度69%)：生徒</p> <p>【相談体制の満足度 75%】 (H29年度73.4%)生徒 (H29年度63.2%)保護者</p>	<p>狭山池祭りをはじめ狭山池クリーンアクション等の地域交流と豪州/韓国の姉妹校との国際交流が順調に進み、生徒の意識が高まった。多様な進路に対するキャリアガイダンスを活発に行った事もあり、概ね指標は良好な結果となった。</p> <p>H30. キャリア教育満足度79.8%△ H30. 地域連携参画意識51.7%○ H30. 国際交流参画意識66.5%○ H30. 部活動満足度68.4%△ H30. 生徒会活動参画意識63.9%△</p> <p>■ビブリオバトルは日程の関係で校内予選が間に合わず出場を逸した△</p> <p>■年間遅刻件数929名となり大きく改善した◎</p> <p>学校生活満足度はおおむね良好な結果となった。 学校生活満足度78.2%(生徒)△ " 88.8%(保護者)○ 生徒向け人権学習会に注力し人権意識は大きく改善した。 人権意識77.7%◎ 相談体制(生徒)75%○ " (保護者)70.3%△</p>
3 学校改革に向けての盤石な体制づくり	<p>(1) 教職員全員が当事者意識を持って学校経営に参加する体制づくりに取り組む。</p> <p>ア. 経営会議による学校改革のPDCA推進と学校の将来像の検討提案</p> <p>イ. いじめ・体罰「0」を継続するため教職員間で人権意識を高める</p> <p>ウ. 創立40周年実行委員会の定期開催により進捗状況の共有を行う</p> <p>エ. 教職員間の協力体制をさらに強固にし「チームさやま」で全員参加の学校経営を推進</p> <p>(2) PTA、同窓会等活動の活性化に取り組む。</p>	<p>ア. H30年度は新学習指導要領・新テスト対応の元年であり外部環境変化に適応するための学校改革を経営会議が発信し分掌・学年・教科で共有・実施する。</p> <p>イ. 安全・安心の学び舎づくりのため人権意識を高め努々いじめ・が生起しない確固たる組織づくりを行い万一一いじめ・体罰事象・差別事象が生じた場合に正確かつスピーディーな対応を行う。</p> <p>ウ. 2019年度に実施する創立40周年行事に向けて具体的な活動を行い進捗状況のチェックを行う。</p> <p>エ. 学年・分掌・教科で行う職務において「チームさやま」をより強固なものにし一致協力して遂行することで各人の職務の平準化・効率化を図る。</p> <p>ア. PTA、後援会及び同窓会との一体化を進め、学校の応援団としての活動の活性化を促進する。</p>	<p>※【 】は学校教育自己診断による</p> <p>【人権意識 70%】 (H29年度67.9%)：教職員</p> <p>【いじめ(真剣な対応)80%】 (H29.74.9%)：生徒</p> <p>【いじめ(体制と迅速な対応)77.3%】 (H29/77.3%)：教員</p> <p>【学校運営への参画意識 80%】 (H29年度77.7%)：教職員</p> <p>■創立40周年実行委員会を定例開催し進捗状況を共有する。</p> <p>【保護者の参画意識 75%】 (H29年度72.5%)：保護者</p>	<p>新学習指導要領移行期間元年であり「総合的な探求の時間」に向けて具体的準備が進んでいる。加えて、道徳教育推進教諭の人選も完了し全教員による道徳教育の準備を開始する。 人権意識73%(教職員)○ いじめ対応は72.1%(生徒)△に対して82.7%(教員)○で意識に若干のズレが生じた。 学校運営への参画意識は高く教員の90.2%◎ 創立40周年実行委員会は同窓会・PTAと連携し式典及び教育環境整備を含む記念事業の企画実施に向け活動中○ 保護者が授業参観や学校行事に参加した経験を問う参画意識は高く82%に達した◎</p>